

三朝町望ましい小学校施設等検討委員会 第3回会議 会議録

- 1 日 時 令和2年5月14日(木)午後1時30分～午後2時55分
- 2 会 場 三朝町役場2階 第2会議室
- 3 出席者 【委 員】別紙名簿のとおり
【オブザーバー】湯本氏、山下氏、戸田氏、湯口氏
【事務局】山中課長・小谷指導主事・福田係長・早苗専門員
- 4 概 要 【候補地検討】小学校施設等の候補地検討における現状と課題および望ましい候補地について、前回会議で出された意見をもとにした方針案を事務局が説明し、併せて前回会議で出された課題についても解決案を説明
【中間まとめ】検討委員会としての候補地案を中間報告としてまとめることについて意見交換
【整備検討】教室等の配置についての考え方および設計デザインに関する方針案について、今後の検討の進め方を確認
- 5 内 容
- (1) 委員長あいさつ
- ・ 新型コロナウイルス対策で皆さんが忙しい中、大学では休学期間2週間の補講をどうするかという検討をしているところ。
 - ・ 今日か明日には緊急事態宣言が解除される見込み。
 - ・ タイトなスケジュールではあるが、今日で検討委員会としての中間まとめをしたいと思っており、意見を一旦集約したいと思っている。
- (2) 望ましい小学校施設等の検討に関する中間報告および、小学校施設の候補地における課題の検討について ※・委員意見等 →事務局説明
- (資料に沿って説明)
- ・ 小中一貫か、連携かという話があったが、中学校はすぐには新校舎に入らないということで良いか。
- そのように想定している。
- ・ 小中連携として、小中学校はあくまで別々の方が良いと思っている。小学校から中学校に進学する時の子どもたちのモチベーションを考えると、別々であるべきと思っている。
 - ・ 小中学校とも1クラスとなった時には、教員配置が難しくなるので、小中一貫を考えるべき。

- ・ この中間報告案のとおり、少しでも早く、令和6年度より早くなるのであればなお良いと思っているので、進めてほしい。
- ・ 新校舎の前には大型バスは入らないのでは。
- 入れることは可能。
- ・ 少子化の話については、社人研よりも町独自のデータを用いた方が積極性を感じる。
- ・ 「小中連携を視野に」とあるが、実際には視野どころかすでに現実的なものとなっているのではないか。
- ・ 流れについてはよくわかった。
- ・ 最終的な中学校の体育館建て替えの際は、国費を使うのか、それとも単独費か。
- 小学校校舎で申請するものとは別の国庫補助申請を行う予定。
- ・ 本当の気持ちは、ゆったりしたところに建ててほしいと思っているが、現状と課題、特に財政事情を聞けば、致し方ないというところ。
- ・ 新校舎のそばにグラウンドがないことが心配で、想像できなかったが、ミニグラウンドでもあれば子どもがすぐに使える。
- ・ 学童クラブの方向性と、その跡地を駐車場にするというのも良い。
- ・ 武道館は、トレセンで使用すると考えたらよいか。
- ・ 小中連携については、将来的に想定しているということを強く打ち出していくべきではないか。小中連携を打ち出す過程で校舎を検討した方が、積極性がある。
- ・ 小中学校独自とするのは財政上苦しいので、このような形だと思う。
- ・ 最初からこのような方向性で進めたいということを示し、理解を得ていくことが必要ではないか。発信することが必要。9年間の義務教育を理解してもらう。
- ・ ぜひいい校舎を造ってほしい。
- ・ 細かいところは今後検討していくとして、基本は賛成。
- ・ 子どもたちの集中力を高めるため、普通教室をあえてグラウンド方向に造らないのも配慮。実際に湯梨浜中はそうしてある。
- ・ 小学校と組み合わせる対象は中学校だけではなく、図書館や公民館も考えられる。この段階で絞り込まず、可能性を持たせるべき。
- ・ そうは言っても課題の解消が必要。他の箱モノと一緒にするのはどうか。アイデアとしてはいいが、財政力的に難しいのではないか。ただ、コラボについては考えていく必要がある。
- ・ 空き校舎となる現在の小学校施設内の空きスペースの活用を検討することも必要ではないか。高齢者の利用など。
- ・ 「ソーシャルミックス」を考えることも大事。教室等の配置について、事務局の案はどのような考え方か。
- 本日は候補地についての検討のまとめを先に行ってもらい、教室等の配置については提案資料を配布しているものの、あらためて検討する場を持たせてほしい。
- ・ 平面図を見る限り、検討している規模が大きすぎるのではないか。

- 配布している平面図は、必要と考えられる教室をはめ込んだものであり、配置については熟考に至っていない。規模感を見てもらう資料としている。
- ・ 普通教室が南向きのものと北向きのものがある。そしてやはり、大きさについては考えられる最大限のものになっているように思われる。
- 検討を進める中で規模を縮小してきたが、その過程で現状はチグハグしているため、議論の余地がある。
- ・ トレーニングセンターの表記が途中で小学校体育館となっているが、トレーニングセンターは町のものか。
- 町所有。
- 中間報告で検討委員会としての候補地をまず決めてもらい、校舎の中身についてはあらためて議論してもらいたい。

(3) 本検討委員会としての提案の中間まとめについて ※・委員意見等 →事務局説明

- ・ 中間報告(案)について再確認を行いたい。
鉄筋コンクリート造の耐用年数は、元が取れる年数であり、これ以上使えないということではないが、目安として。
耐震対策は、この表現で間違っていないか。
- 間違っていない。
- ・ 少子化数値は、外へ出せる根拠のある数値となっているか。
- 根拠のある数値である。
- ・ 候補地は、現在の小学校が本当は望ましいが、水源のことがあり、中学校敷地という考え方。
- ・ 中学校が新校舎へ後に入るのはここで決定か。それとも中学校施設の検討委員会を設けるのか。
- ここでの決定をもとに町の考え方を決定していく予定。
- ・ ここでなら、ばしっと方針を出すべきではないか。
- ・ 今検討しているのは立地なので、小中連携まで決めてしまうのは違和感がある。
- ・ いっそのこと、併設として中学校も最初から入る形にしたらどうか。普通教室を3つ増やすくらいで済むのならその方がすっきりするのではないか。
- ・ それでは後にすぐ不要教室が多くなり、効率が悪くなってしまう。
- ・ 少人数指導教室は文部科学省の方向性が変わってきており、今後不要となる傾向にある。
- ・ 小中連携をここで決めてしまうことにより、町の教育のあり方がごろっと変わってしまう恐れがある。
- 小中連携については議会や教育委員会でも今までに出されている話であり、もちろん教育委員会で決めることである。
- ・ 「小中連携も視野に」という表現は残しておいた方がいいと思われる。
他に追加する内容等はないか。

三朝町では、「みささっ子教育ビジョン」を策定し、その考え方に基づく学校整備を進めていくことになるが、設計ではここで想定される以上に素晴らしいものをつくり上げてもらいたい。

- 小中学校や町とも話をしながら、新たな図面案を検討委員会へ提出させてもらえたらと考えている。
- 教室等の整備に関する方針案と設計デザインの考え方について、すでに配布している資料を確認してもらいながら、次回、意見を聞かせてもらいたい。

資料の最後につけている必要教室内容と数量について、よりミニマムなものとなるよう再検討するとともに、小中学校の先生方からも意見を聞いてあらためて資料と平面図を作成し、次回の会議までに委員の皆さんへお送りする。

閉 会

- ※ 次回は6月4日（木）午後1時30分～
詳細は別途案内、資料は事前送付する。